

# BIM測量機器を 研究棟現場に導入

## 矢作建設が国内初

矢作建設工業は4日、愛知県長久手市の同社地震工学技術研究所で建築測量（墨出し）時にBIM測量機器を国内で



初めて導入した研究棟建設工  
事の現場を公開した。

現場では、オートデスク製

「BIM360Layout」を使用したパソコンのBIMモデル上のポイント情報をタブレット端末と同期、千代田測器が保有する専用測量機と連動した測量の様子を紹介した。写真。

この技術により作業効率が向上、従来は専門知識と技能をもつ作業員が2人1組で実施していた作業を、特別な技術を持たない職員1

人でできるようになるほか、クラウドでデータ構築のための情報共有が容易になる。

3次元データの作成で設計・施工などの工程が「見える化」できることから施主への説明も容易になり、合意形成が迅速化する。同社の担当者は「新技術の導入が働き方改革や品質の確保につながる。2階建ての研究棟の規模であれば、1週間程度で基本的なデータを作成できる」とし、今後、同社が手掛ける施工現場への導入に自信をのぞかせた。

